様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 17 日

八王子市長　　殿



提出者
住　所　　東京都八王子市石川町　2973-2

氏　名　　名糖産業株式会社八王子工場
工場長　原田　和徳

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　042-642-7521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	名糖産業株式会社八王子工場
事業場の所在地	東京都八王子市石川町　2973-2
計画期間	令和7年4月～令和8年3月

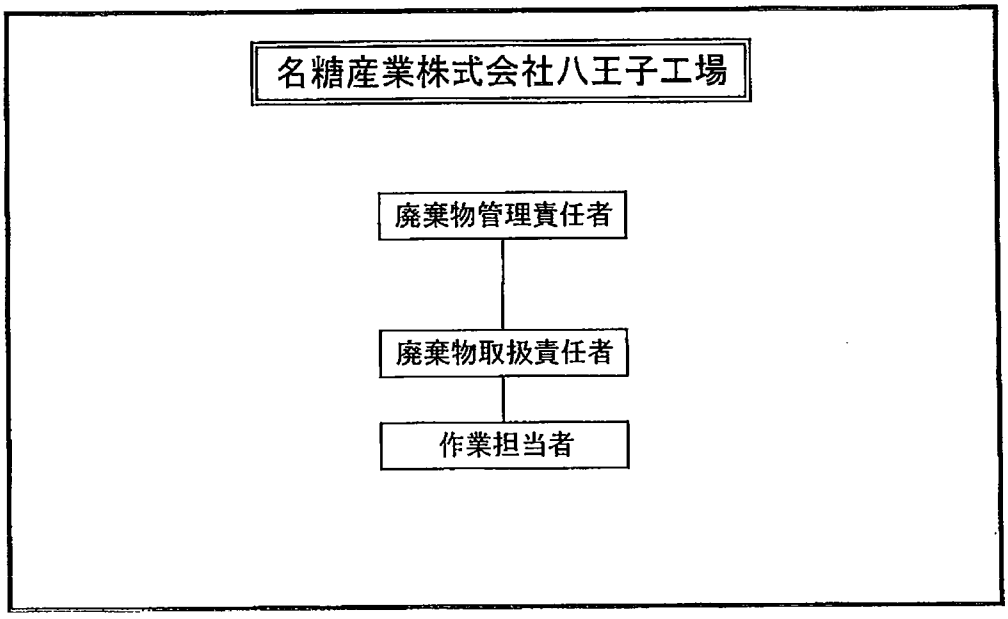
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	化学工業（E16）
②事業の規模	製造品出荷額　2,344百万円
③従業員数	66人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→発酵→再生利用 汚泥→脱水→固形化→再生利用 廃プラスチック→破砕→焼却→再生利用 金属屑→破砕・選別→再生利用 木屑→焼却→再生利用 廃油→油水分離→再生利用

（日本産業規格　Ａ列４番）

別紙 ①

名糖産業株式会社八王子工場廃棄物管理組織図



	役割
廃棄物管理責任者	・廃棄物の適正処理、減量化、再資源化を推進する統括責任者 ・産業廃棄物処理委託契約の締結 ・排出状況の把握、及び特別管理産業廃棄物の処理委託 ・適正な処理の確保(分別及び保管状況の確認、処理業者の選定) ・東京都多摩環境管理事務所、東京都、八王子市等への届出、報告
廃棄物取扱責任者	・廃棄物の排出状況の把握・廃棄物発生量の集計・報告 ・廃棄物減量化、再資源化の実施と教育指導 ・収集、分別、計量、保管及び処理委託、処理業者の調査、確認 ・マニフェストの交付と照合、廃棄物管理書類の保管 ・廃棄物保管場の運用管理
作業担当者	・自部門で発生する廃棄物の適正管理と分別状況の確認

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

「別紙①のとおり」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
排　　出　　量	1,398.59　t	17.64　t

（これまでに実施した取組）
排水処理設備更新による汚泥量削減
廃プラスチック類分別の徹底
金属屑分別の徹底
ガラス陶磁器等屑分別の徹底
金属屑の有価物化
原料袋の再資源化
社内教育による廃棄物削減と分別意識の向上

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
排　　出　　量	1,300.00　t	17.00　t

（今後実施する予定の取組）
汚泥以外の廃棄物の排出量を前年度より削減する。
新入社員を含めた社内教育を継続していく。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類は4種類に分別
金属屑は6種類に分別
ガラス陶磁器等屑は6種類に分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の分別を再確認して、引き続き従業員の意識向上を行っていく。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
排　出　量	8.35　t	0.68　t	0.33　t	0.60　t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
排　出　量	7.00　t	0.50　t	0.20　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
排　出　量	0.13　t	0.02　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
排　出　量	0.10　t	0.02　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	1,398.59　t	17.64　t
優良認定処理業者への処理委託量	1,149.89　t	15.40　t
再生利用業者への処理委託量	1,398.59　t	17.64　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）
優良認定処理業者を含めた、業者の検討と選定

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
全処理委託量	8.35　t	0.68　t	0.33　t	0.60　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	0.60　t
再生利用業者への処理委託量	8.35　t	0.68　t	0.33　t	0.60　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
全処理委託量	0.13　t	0.02　t	－　t	－　t
優良認定処理業者への処理委託量	0.13　t	0.02　t	－　t	－　t
再生利用業者への処理委託量	0.13　t	0.02　t	－　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t	－　t	－　t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	1,300.00 t	17.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,100.00 t	15.00 t
再生利用業者への処理委託量	1,300.00 t	17.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
優良認定業者への委託を含めた、委託業者の検討を続けていく。

※事務処理欄

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃油
全処理委託量	7.00 t	0.50 t	0.20 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	7.00 t	0.50 t	0.20 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類	－	－
全処理委託量	0.10 t	0.02 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	0.10 t	0.02 t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.10 t	0.02 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。